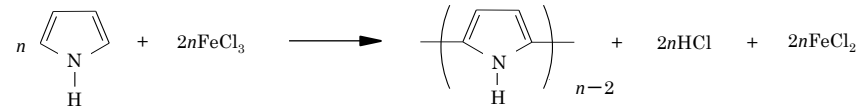
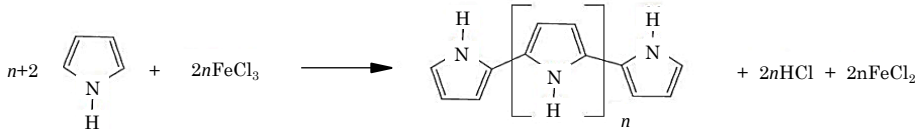
「実験でわかる 電気をとおすプラスチックのひみつ」 正誤表

頁	箇所	誤	正
22	3.1節3行目	特にドーピング効果に優れ	特にアクセプタードーピング効果に優れ
23	3行目	ディアズ	ディアス
	下から6行目	重要なのはベンゼンやピロールのような芳香環は，環の中でπ電子（パイ電子）という電子を共有していることで，この構造を共役系と呼ぶ。芳香環どうしがうまくつながると，つながった相手ともπ電子を共有して共役系を広げることができる。重合によってたくさんの芳香環が連なると，さらに共役系が発達していき，導電性プラスチックができあがる。	重要な点はベンゼンやピロールのような6π電子系の芳香環は，環の中でπ電子（パイ電子）が共役していることである。重合によってたくさんの芳香環が連なると，さらに共役系が発達して導電性プラスチックになる。
24	図3.2	誤 	
		正 	
25	下から3行目	ポリピロールも	ポリピロール誘導体も
47	3行目	（図4.6）	（図4.6（b））
66	5.2節1行目	充電したり，放電したり	蓄えたり，放出したり
73	3行目	ポリピロール薄膜をセルごと引き上げて，リード線でプロペラ付き微電流型モーターにつなぐ。セルを10%塩化ナトリウム水溶液に浸し，プロペラにの回転を観察する。	重合したポリピロール薄膜をセルごと引き上げて，10%塩化ナトリウム水溶液に浸し，リード線でプロペラ付き微電流型モーターにつなぎ，プロペラの回転を観察する。
85	1行目	PEDOT/PSS溶液に界面活性剤を加えることで	PEDOT/PSS溶液に極性の試薬や界面活性剤を加えることで
88	下から10行目	アルコールはエタノールC_2H_5OHと	エタノールC_2H_5OHと
115	9行目	先に解決し，この実験教室の開発を後押ししたのは，電子注入層の問題だった。	この実験を実験教室のテーマとして開発する際の最大の難関は，電子注入層をどう作製するか，であった。

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。

下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。

http://www.coronasha.co.jp